



身 障 秋 田

発行人／社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会会長 細 矢 治 助
事務局／秋田市旭北栄町1-5 TEL／(018) 864-2780 FAX／(018) 864-2781 平成23年4月15日発行

社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会

平成二十三年 事業計画

事業計画

1. 障害者支援施設秋田ワーカーセンターの運営・管理

「障害者の尊厳と社会参加」を基本理念に、「個人の尊厳に基づく自立支援」の確立と、障害者自らが創る「自由でいきいきとした生活空間の創造」実現に向けて、利用者の立場に沿った充実した個別支援計画に基づく、障害福祉サービスの提供に努める。



生活介護支援事業

2. 地域福祉推進のための事業



就労支援事業

(1) 第三十回秋田県身体障害者福祉大会の開催

障害者の福祉向上をめざす諸課題について、県民各層の理解を得るとともに、障害者自身の自立意識高揚と会員の団結を図り、併せて自立更生及び団体育成功労者等の表彰を行なう。(七月二十二日(金) 秋田県民会館)

(2) 市町村身体障害者協会活動助成金の交付

(3) 軽スポーツレクリエーション大会の実施(十月中旬、秋田市)

(4) 市町村身体障害者協会会長・事務担当者等会議の開催(六月中旬、県内三地区で開催)

(5) 会報「身障秋田」の発行
全会員を対象に、事業計画や予算、決算等の紹介を中心とした情報の提供を行う。

(6) 海外障害者福祉視察研修の実施

海外障害者福祉視察研修事業を通じて、諸外国の社会福祉実情を知る機会を設ける。
(実施時期平成二十三年十月～十一月、募集人員二十名、内容未定)

(7) その他の事業

▽「身障のつばさ」の企画、実施。
第五十六回日本身体障害者福祉大会への参加。(富山県、平成二十三年五月二十六日(木)～二十九日(日))

▽身体障害者ジパング倶楽部の入会に関する事務。
▽日身連収益事業部の行う事業への協力。

▽秋田県障害者スポーツ協会への協力。

・北海道地区大会(第十一回全国障害者スポーツ大会予選)への派遣(六月、福島県福島市)

(2) 聴覚障害者バレーボール東北・北海道地区大会(第十一回全国障害者スポーツ大会予選)への派遣(六月中旬、秋田県大館市)

(3) 車いすバスケットボール東北・北海道ブロック大会(第十一回全国障害者スポーツ大会予選)への派遣(六月上旬、青森県青森市)

(4) 聴覚障害者バレーボール東北・北海道地区大会開催事業の開催(六月上旬、秋田県大館市)

4. 受託等事業の実施

(1) 障害者地域生活支援事業

1 生活訓練等事業

① オストメイト社会適応訓練事業

ストマ用装具を装着している方々に対して、装具の使用等について正しい知識を付与するとともに、社会生活に必要な基本事項についての相談に応ずることにより、その社会復帰を推進する。(県内七か所で開催)

② 音声機能障害者発声訓練、

3. 身体障害者スポーツの振興を図るための事業

(1) グランドソフトボール東北

発声訓練指導者養成事業

喉頭を摘出し、音声機能を喪失した方々に対して発声訓練を行うとともに、この発声訓練に携わる指導者を養成する。(県内三か所で週一回実施、指導者講習会への派遣)

③ろうあ者日曜教室開催事業

コミュニケーションの手段に著しい障害を有するろうあ者の方々に対して、社会生活上必要な知識の習得や、意見情報等の交換の場を設ける。(県北、中央、県南各二回開催)

④車いす生活者社会生活行動訓練事業

車いす生活者で外出することが困難な方々や外出する機会が得られない方々に対して、その場を設け、併せて車いす操縦等の訓練・指導を行うことにより、車いす生活者の社会参加を促進する。(県北、中央、県南各一回開催)

⑤筋ジストロフィー症の方々の

筋ジストロフィー症の方々に対して社会生活上必要な知識の習得や、意見、情報等の交換の場を設ける。(年一回)

⑥身体障害者海の家・山の家開設事業

身体障害者の保養のために、

海の家・山の家を開設する。(県内十二施設を指定)

⑦身体障害者更生相談事業

身体障害者の更生のために必要な各種相談に応じ、適切な指導や助言を行うことにより、身体障害者福祉の増進を図る。(常設相談窓口の設置)

2 情報支援等事業

①手話通訳設置事業

手話技術を習得した手話通訳を設置し聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にする。

②字幕入りビデオカセットラ

イブラリー事業

テレビ番組、映画等に字幕、手話を挿入したビデオカセットライブラリーの貸し出しを行うことにより、聴力に障害のある方々の知識、教養の向上を図る。(ビデオライブラリーを県心身障害者総合福祉センター図書室に設置)

3 社会参加促進事業

①身体障害者福祉活動推進事業

障害者のための地域生活支援事業等を企画、推進する福祉活動推進員を設置する。

②秋田県身体障害者福祉大会

開催事業

身体障害者及び関係者が一堂に会し、障害者福祉への県民意識の高揚を図るとともに、功労者の表彰を行うことにより、身体障害者福祉の向上と住みよい地域社会づくりに寄与することを目的に開催する。(七月二十二日(金)、秋田県民会館)

③視覚障害者に関わる啓発・普及事業

視覚に障害のある方々への正しい知識、障害の理解を深めるために各種の事業を行なう。(三事業を実施)

④要約筆記奉仕員養成事業

聴覚に障害のある方々の福祉に理解と熱意を有する者に対し、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーション手段としての要約筆記の指導を行うことにより、要約筆記奉仕員を養成し、聴覚障害者福祉の増進を図る。(講習会の開催、基礎・応用課程一か所、指導者研修会へ派遣)

⑤車いす使用者のためのレクリエーション開催事業

車いす常用者の体力増強、交流、余暇等に資することを目的として、各種のレクリエーション開催事業

エーション活動を行なう。(三事業実施)

⑥指定居宅介護事業者情報提供事業

重度身体障害者が都道府県や指定都市間を移動する場合に、その目的地において必要となるガイドヘルパーを確保できるように、指定居宅介護事業所に関する情報を提供することにより、移動支援の充実を図る。(秋田県ガイドセンターを設置)

⑦要約筆記奉仕員派遣事業

派遣依頼を受けて、中途失聴者や難聴者と障害を持たない者との意思伝達の仲介機能を行うことにより、障害者の社会参加促進を図る。

⑧手話通訳者派遣事業

手話を用いて、コミュニケーションの円滑化を支援するため、聴覚に障害のある方々の申し出により登録された手話通訳者を派遣する。

⑨軽スポーツレクリエーション開催事業

障害を持つ方々の社会参加と健康維持増進及び障害者の連携の和を広げ、ひいては低迷化したつつある障害者の地域活動の活性化に資する。(六人制卓球バレー、フライング



フライングディスク・アキュラシー



6人制卓球バレー

⑩要約筆記奉仕員市町村派遣事業

聴覚に障害のある方々等（音声又は言語機能障害者を含む）のコミュニケーションの円滑化に資するため、市町村の委託により要約筆記奉仕員を派遣する。

⑪手話通訳者市町村派遣事業

手話を用いて、コミュニケーションの円滑化を支援するため、市町村の委託により聴覚に障害のある方々等の申し出により、登録された手話通訳者を派遣する。

⑫秋田県障害者社会参加推進センター運営事業

障害の有無にかかわらず、誰もが家庭や地域で明るく暮らせる社会づくりに向けて、障害者自らによる諸種の社会参加促進施策を実施し、地域における自立生活と社会参加を推進する。

▽推進協議会の開催(年二回)
▽「秋田県障害者社会参加推進センター」ホームページの運営

▽「障害者110番」の設置、運営

障害者の権利擁護にかかる相談等に対応するため、常設相談窓口を設置し、内容に応

じて弁護士等による相談チームを編成し専門相談を行うほか、必要に応じて専門機関に依頼し、障害者が抱える問題を解決し、障害者の福祉の増進を図る。(月曜日から金曜日の九時から十六時まで。時間外は留守電、FAX対応。)

毎月第三火曜日弁護士相談。)
▽第十一回心いきいき芸術・文化祭の開催

障害者の芸術、文化活動への参加を通じて、障害者本人の生き甲斐や自信を創出し、障害者の自立と社会参加を促進するとともに、障害者に対する県民の理解と認識を深めることを目的として、障害者週間にあわせて実施する。(十一月八日(木)・九日(金)拠点センターアルヴェ)



コンサート



障害者福祉展



製品販売

▽秋田県心身障害者総合福祉センター図書室の運営(情報サービス提供事業)

秋田県心身障害者総合福祉センター図書室において書籍や各種団体機関紙、インターネット等により、各種情報の提供を行う。(月、水、木、金曜日の十時から十五時まで。更に第一、三水曜日は十七時三十分から二十時三十分まで。)

▽サービス管理責任者研修事業

障害者自立支援法の適切かつ円滑な運営に資するため、サービスの質の確保に必要な知識や技能を有するサービス管理責任者を養成する。(講義三日間、演習五分野、各二日間)

▽相談支援従事者初任者研修事業

▽相談支援従事者現任者研修事業(新規事業)

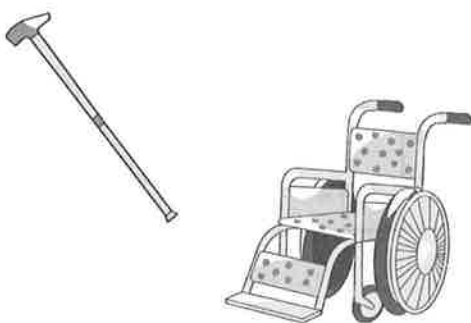
障害者の意向に基づく地域生活を実現するために必要な保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスの総合的かつ適切な利用支援の援助技術や、困難事例に対する支援方法等を習得することにより、相談支援専門員の養成を行う。

(講義三日間、演習二日間)
▽ガイドヘルパー養成研修事業(新規事業)

重度視覚障害者の移動支援に必要な知識や技能を有するガイドヘルパーを養成する。(講義六時間、実習九時間)

(2)授産施設等活性化支援事業

授産施設等活性化支援事業 障害者がより効率的な作業訓練や生産活動などを行う環境を整えるため、就労継続支援B型事業所及び授産施設に生産技術等のノウハウを提供する専門スタッフを配置し、授産活動の活性化を図る。(二年間限定事業、施設状況確認訪問・雇用に係る委託契約・雇用契約・工賃実績等の情報管理・追跡調査等)



平成23年度 資金収支当初予算内訳表
自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

区分	勘 定 科 目		合 計	法 人 本 部 理 区 分	秋田ワークセンター 生活介護事業 区 分 業 務 理 区 分	秋田ワークセンター 就労支援事業 区 分 業 務 理 区 分	スポーツ振興事 業 区 分 業 務 理 区 分	障害者地域 生活支援事業 区 分 業 務 理 区 分	障害者社会参加 推進センター事 業 区 分 業 務 理 区 分	退職 給 付 区 分 業 務 理 区 分	授産 施設 生活 事業 区 分 業 務 理 区 分	
	大	小										
支 活 動 に 支 援 する 事 業 収 入	収入	就労支援事業収入	64,000,000			64,000,000						
	支 出	就労支援事業収入計 (1)	64,000,000			64,000,000						
	支 出	就労支援事業支出	62,375,000			62,375,000						
	支 出	就労支援事業支出計 (2)	62,375,000			62,375,000						
	支 出	就労支援事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	1,625,000			1,625,000						
	支 出	自立支援費収入	170,530,000		129,755,000	40,775,000						
	支 出	負担金収入	2,976,000	2,976,000								
	支 出	補助金収入	10,672,000	0	1,367,000	2,771,000	808,000		5,726,000			
	支 出	受託金収入	89,455,000			2,640,000		18,660,000	7,069,000			61,086,000
	支 出	経常経費補助金収入	498,000	498,000								
	支 出	寄附金収入	651,000	472,000	165,000	14,000			1,000,000			
	支 出	雑収入	10,820,000	7,000	2,465,000	20,000						
	支 出	受取利息配当金収入	1,794,000	1,762,000	17,000	15,000						
支 出	会計単位間繰入金収入	1,688,000	103,000									
支 出	経理区分間繰入金収入	27,087,000	5,177,000	17,755,000	1,313,000							
支 出	福祉事業収入計 (4)	316,171,000	10,995,000	151,524,000	47,548,000	808,000		13,795,000			61,086,000	
支 出	人件費支出	152,724,000	650,000	83,114,000	39,207,000			6,336,000			2,010,000	
支 出	事務費支出	21,619,000	3,405,000	13,236,000	2,017,000							
支 出	事業費支出	102,125,000	3,177,000	24,923,000	3,787,000			7,087,000			59,076,000	
支 出	借入金利息支出	0	0									
支 出	経理区分間繰入金支出	28,774,000	3,177,000	21,648,000	2,262,000			372,000				
支 出	福祉事業支出計 (5)	305,242,000	10,409,000	142,921,000	47,273,000	808,000		18,660,000		10,290,000	61,086,000	
支 出	福祉事業活動資金収支差額 (6)=(4)-(5)	10,929,000	586,000	8,603,000	275,000	0		0		1,465,000	0	
支 出	施設整備等補助金収入	14,284,000		14,284,000								
支 出	施設整備等収入計 (7)	14,284,000		14,284,000								
支 出	固定資産取得支出	23,825,000		21,990,000	1,835,000							
支 出	施設整備等支出計 (8)	23,825,000		21,990,000	1,835,000					0	0	
支 出	施設整備等資金収支差額 (9)=(7)-(8)	-9,541,000		-7,706,000	-1,835,000					0	0	
支 出	借入金元金償還補助金収入	0										
支 出	借立預金取崩収入	7,021,000		6,716,000	305,000							
支 出	その他の収入	1,000								1,000		
支 出	財務収入計 (10)	7,022,000		6,716,000	305,000					1,000		
支 出	借入金元金償還金支出	666,000		666,000								
支 出	借立預金積立支出	4,000,000		4,000,000								
支 出	その他の支出	1,342,176		4,666,000						1,342,176		
支 出	財務支出計 (11)	6,008,176		2,050,000	305,000					-1,341,176	0	
支 出	財務活動資金収支差額 (12)=(10)-(11)	1,013,824		500,000	0					0		
支 出	予備費 (13)	1,000,000	500,000									
支 出	当期資金収支差額合計 (14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	3,026,824	86,000	2,447,000	370,000					123,824		
支 出	前期末支払資金残高 (15)	81,969,000	12,010,000	34,818,000	35,141,000							
支 出	当期末支払資金残高 (14)+(15)	84,995,824	12,096,000	37,265,000	35,511,000							

お 知 ら せ

平成二十二年度
第十回心いき芸術・文化祭
が開催されました

平成二十二年度第十回心いき芸術・文化祭が次のとおり開催され大変好評でした。平成二十三年度もアルヴェで実施の予定です。(平成二十三年十二月八日・九日)皆様ふるって御参加下さいますようお願いいたします。



コンサート

- (1) 期日: 平成二十二年十二月九日 (木)・十日(金)
- (2) 場所: 秋田拠点センターアルヴェ
- (3) 内容: ① オープニングセレモニー

(主催者あいさつ、来賓紹介、テーマ紹介、テープカット)
 ② 講演(生きながら生まれかわる) 歌手 米良美一
 ③ コンサート(障害のある十一団体・個人が歌や踊りを披露)

④ エンディングセレモニー(障害者福祉展入賞作品紹介、賞状授与など)
 ⑤ 障害者福祉展(八十団体から申し込みのあった四一〇作品(延人員九三五名)の展示)

⑥ 製品販売(十九ヶ所の障害者団体会員や施設利用者が自ら製作した製品を販売)

(4) 会議等の開催: 実行委員会三回、小委員会三回、障害者福祉展審査委員会一回
 (5) 来場者概数: 一五〇〇名



講演

平成二十三年度
第三十回
秋田県身体障害者福祉大会

平成二十三年度第三十回秋田県身体障害者福祉大会に合わせたイベントについて次の様な募集要項(案)で皆様が参加できる芸術大会を開催したいと考えております。県民会館の舞台での歌、踊り等の発表は良い思い出になる事と思えます。是非多勢の参加をお願い致します。

- 1、開催日時: 平成二十三年七月二十二日(金)十三時三十分から十五時〇〇分まで
- 2、開催場所: 秋田県民会館
- 3、募集内容:
 - (1) 音楽(合唱、演奏、カラオケ等)
 - (2) 演劇・芸能(民族伝統芸能、日本舞踊、車いすダンス)
 - (3) 舞踏(創作ダンス)

で十五個人・グループの出演を上限とします。

4、応募資格

秋田県内に居住する市町村身体障害者協会の会員

5、応募方法

平成二十三年七月一日(金)必着で事務局に申し込んでください。

6、出演の決定

平成二十三年七月八日(金)まで申込者全員に文書で通知します。

7、表彰

8、その他

(1) 演奏などに必要な機材の搬入及び搬出にかかる経費は、参加者の負担となります。
 (2) 当日の交通費及び昼食は、参加者の負担となります。
 (3) 音響設備については主催者で準備します。

(4) 当日はステージでのリハールは行ないません。

(5) 申し込み多数の場合は地域や内容を考慮し、福祉大会運営委員長が選考します。

(6) 事前の申し込みがない場合の参加はできません。

(7) CDやカセットテープを持

参する場合は、当日担当者へお渡しください。

9、事務局

第三十回秋田県身体障害者福祉大会運営委員会事務局
 〒〇一〇一〇九二二

秋田市旭北栄町一番五号
 秋田県身体障害者福祉協会
 内

TEL 〇一八八六四二七八〇
 FAX 〇一八八六四二七八一

E-mail infoakita@mua.biglobe.ne.jp
 http://www.normanet.ne.jp
 /www.100132/center/index2



参加者募集

第56回日本身体障害者福祉大会（富山大会）

**立山黒部アルペンルート横断！
北陸周遊の旅**



兼六園



善光寺

旅行期間：平成23年5月25日（水）～5月28日（土）
 旅行代金：お一人様 129,500円
 （スタンダードツイン2名1室利用・リフト付大型バス利用・大会参加費含む）
 募集人員：25名（最小催行人員20名）



菅沼合掌造り集落



黒部ダム

申し込み方法：各市町村身障協会ごとに、取りまとめて近畿日本ツーリストまでお申込下さい。

（秋田支店 018-896-4890）

お申し込み締切：お問い合わせ下さい。

身障のつばさ行程表

月日	行 程	宿 泊
5/25	秋田駅 中央改札口7:15集合（予定） 秋田駅⇒大宮駅⇒長野駅⇒善光寺⇒大町温泉（泊） 8:02 11:42 13:20 17:30	（安曇野高穂温泉） アンビエント安曇野
5/26	ホテル⇒黒部アルペンルート⇒富士市内観光⇒富士市内夕食 8:30 10:00 16:30 18:30	（高岡市内） 高岡マンテンホテル
5/27	ホテル⇒全国大会⇒五箇山集落⇒金沢市内夕食⇒金沢（泊） 8:00 9:00 13:50 18:00	（金沢市内） 金沢エクセルホテル東急
5/28	ホテル⇒兼六園⇒金沢観光（車窓）＝小松空港＝羽田空港＝秋田空港 8:30 9:00 11:30 13:30 15:50 16:55	